



イブニングセミナー3(ES3) 頤椎 椎弓形成術



日時 | 2023年6月15日(木) 16:10~17:10

会場 | Room C 5F 小ホール2 (愛知県産業労働センター ウィンクあいち)

座長 | 水野 順一 先生 (新百合ヶ丘総合病院 低侵襲脊髄手術センター)

演者 | 安田 宗義 先生 (一宮西病院 脳神経外科)

演者 | **椎弓形成術のエスプリ:
安全で美しい手技に必要なたったふたつの条件**

演者 | 大竹 安史 先生 (中村記念病院 脳神経外科/脊椎脊髄・末梢神経センター)

演者 | **頤椎手術のセレンディピティ ~若手脊髄外科医の悩み~**

取得単位 | ●本セミナーは脳神経外科領域講習の1単位が取得できます。
●本会期中における領域講習の取得単位上限は4単位です。
●領域講習の単位取得方法の詳細については プログラム・抄録集または学会HPにてご確認ください。

椎弓形成術のエスプリ:安全で美しい手技に必要なたったふたつの条件

一宮西病院 脳神経外科 安田 宗義 先生

椎弓形成術を例に、安全で美しい手術のための心意気について考察したい。

1: "duel"の選択と集中

手術には危険な局面、duel(決闘)がある。問題はそれを執刀医が認識しているかで、術前にどこがduelか言えないと問題。そのような医師は序盤から無用なケンカを仕掛け、本当の正念場までに疲弊するから。無益な勝負は術者の自己欺瞞。「その対決は患者に必要か?」の観点が抜けた、場当たりの手技にすぎない。

真のduelだけに集中するには、上級術者の手技を完コピすべき。しかしそれは数多く手術に立ち会うだけではなしえない。参加した手術の動画を見直し、ダイジェストを編集しておくべき。そして気付いたことや感想を言語化してまとめておく。いざ自分が執刀するとき、この記録ほど優れた教科書を私は知らない。

2: Art sessionとしての手術を求めて

第一歩は止血と顕微鏡操作。止血、焦点、中央を定期的に意識する習慣が必要。

次はムダのない手順。その修練として術中は次の手順を早めに呼び掛ける。

また、術野は散らかさず、一流料理人のカウンターをイメージする。

最後はリラックスした雰囲気。術中の外科医にはすでに十分な威圧感が漂う。そのうえ叱責や恫喝を行えば、若い職員など委縮しないはずはない。挨拶や礼を欠かさず、仲間を名前呼び、会話にはユーモアを。そうすることで、若い同僚から助言をもらえるくらいの環境を醸成する責任が術者にはある。終刀の折、彼らから「また一緒にやりたい」と思われるようになろう。プロミュージシャンのセッションが楽しそうなのは、それも仕事と当人たちが覚悟しているから。もし音楽家が怒鳴ればステージも台無し。手術室も英語ではtheatreと言うのではないか。諧謔と上機嫌の演出は外科芸術の必須業務と心すべき。

私達には幾百の一つにすぎない手術に、患者や家族は一生分の決意で臨む。演者も肝に銘じます。

頚椎手術のセレンディピティ ～若手脊椎外科医の悩み～

中村記念病院 脳神経外科/脊椎脊髄・末梢神経センター 大竹 安史 先生、中村 博彦 先生

函館脳神経外科病院 妹尾 誠 先生

セレンディピティ(serendipity)とは、イギリスの小説家・政治家であるホレス・ウォルポールが生みだした造語で、日本語では「偶然の幸運」、「気づき・閃き」などと訳される。転じて「失敗してもそこから見落としせずに学び取ることができれば成功に結びつく」という例え話に使われる。

頚椎後方手術は脊椎外科を志す者が最初に通る登竜門となることが多く、その後も触れる機会の多い手術である。しかし、未だ確固たる適応、術式、予後など定まったものはなくControversialな要素の多い術式である。片開き式(open door)か? 両開き式(French door)か? インプラントは必要か? ハイドロキシアパタイトか? チタンか? 様々な選択肢がある。演者は症例や状況に応じ、各種を使い分けているが、Laminoplasty Basketのメリットは、チタン製であるので可塑性があり自由度が高い、骨誘導および癒合が期待できる、初期固定力が期待できる点である。その使用経験を、具体例を交え紹介する。硬膜内髄外腫瘍を摘出する際や、特発性頚椎硬膜外血腫の手術の際にhemi-laminectomyを行うことがある。対側の靭帯・筋を温存可能な優れた術式だが、遺残椎弓の骨折を数例経験し、頸部痛で離床が進まずリハビリの進捗に支障をきたしたことがある。この経験から椎弓骨折を予防するためhemi-laminectomyを行った後の骨削除腔に片開き式のLaminoplasty Basketを、充填している。術後CTを用いて有限要素法解析を行い、十分な強度上昇を確認した。

脊椎外科医を志し10年、思うようにいかないことがある毎に指導医の教を請い、自分なりに創意工夫を行ってきたセレンディピティを報告する。